

## 第106回 経営協議会（定例）議事要旨

日 時 平成30年4月26日（木）13:30～14:59  
場 所 事務局第3会議室（4階）

- 議題1. 鹿児島大学稲盛和夫基金の設置について（資料1）  
議題2. 卒後臨床研修医手当の取扱いの一部改正について（資料2）  
報告事項1. 鹿児島大学長期改革プラン「2030年の鹿大」の策定について（資料3）  
報告事項2. 国家試験の合格状況について（資料4）  
報告事項3. 平成30年度学部入学者数について（資料5）  
報告事項4. 鹿児島大学21世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業「UCL 稲盛留学生」制度について  
（資料6）  
報告事項5. 山口大学・UCLとの150周年記念国際シンポジウムについて（資料7）  
報告事項6. 本学教育研究評議会での審議事項等について（資料8）  
報告事項7. 記者発表事項等について（資料9）  
その他

[出席委員] 14名

前田学長

(理事) 島、平井、清原、高松、宮田

(学内委員) 夏越

(学外有識者) 岩切、笹川、月野、永山、野口、野村、野呂

[欠席委員] 1名

(学外委員) 宮原

[オブザーバー]

(理事) 石窪

(監事) 伊牟田、押越

(副学長) 飯干、前田(雅)、馬場、武隈、橋口、森

(学部長等) 高津、上谷、藏脇、河野、渡邊、岩井、越塩、宮本、本間、佐野、中原、萩井

冒頭、学長から、今年度初めての経営協議会の開催に際して挨拶があった後、資料（名簿）に基づき委員等の紹介があった。

引き続き、学長から、経営協議会規則及び経営管理運営体制の資料に基づき、本会議の位置付け等について説明があった。

議題1. 鹿児島大学稲盛和夫基金の設置について（資料1）

学長から、鹿児島大学稲盛和夫基金の設置について諮られ、島理事及び総務課長から、平成29

年 11 月 16 日に稲盛和夫鹿児島大学名誉博士から寄贈された京セラ株式 100 万株の名義書換が、12 月 22 日に終了し、当該株式の名義が本学となったため、鹿児島大学稲盛和夫基金を設置し、管理運営を行っていくための基本方針（案）、基金規則（案）及び基金委員会規則（案）を策定した旨資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

また、外部資金の獲得について意見効果が行われ、野口委員から、鹿大「進取の精神支援基金」については、全教職員へ寄附依頼を徹底すること、また学外者へは広く声掛けを行うべきとの発言があった。

## 議題 2. 卒後臨床研修医手当の取扱いの一部改正について（資料 2）

学長から、卒後臨床研修医手当の取扱いの一部改正について諮られ、島理事から、本学大学病院の研修医について、卒後臨床研修医手当を 15 万円に増額する旨資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

また、野村委員から、鹿児島県医師会では、県内の医師不足対策として「はやぶさプラン」を創設し、卒後臨床研修終了後に県内病院の産婦人科に勤務を希望する医師及び地域の医師会病院にて地域医療を研修する医師助成を行う等の取組を行っている旨の発言があった。

## 報告事項 1. 鹿児島大学長期改革プラン「2030 年の鹿大」の策定について（資料 3）

学長から、鹿児島大学長期改革プラン「2030 年の鹿大」の策定について諮られ、平井理事から、本学の強み・特色を活かした教育研究活動を将来にわたり計画的かつ継続的に推進するため、大学改革検討会議を平成 29 年 5 月 12 日に設置し、『長期改革プラン「2030 年の鹿大」』を策定することとし、長期改革プランにあたっては、大学改革検討会議の下に設置された長期改革プラン策定WGにおいて作成を進め、学内パブリックコメントの実施結果を踏まえ、最終案として取りまとめた旨資料に基づき説明があった。

## 報告事項 2. 国家試験の合格状況について（資料 4）

清原理事から、国家試験の合格状況について資料に基づき説明があった。

## 報告事項 3. 平成 30 年度学部入学者数について（資料 5）

入試課長から、平成 30 年度学部入学者数について、資料に基づき説明があった。

## 報告事項 4. 鹿児島大学 21 世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業「UCL 稲盛留学生」制度について （資料 6）

馬場副学長から、鹿児島大学憲章に基づき、1865 年の幕末時代の薩摩藩の精神を継承し、「進取の気風」を備えた人材を輩出するため、University College London（以下、UCL）で学ぶ学生を支援することを目的として、鹿児島大学 21 世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業「UCL 稲盛留学生」制度を設け、平成 30 年 1 月 29 日に UCL と打合せを行い、また、3 月には稲盛和夫名誉博士への制度内容の説明を行い、同意が得られている旨資料に基づき説明があった。また、6 月 21 日に UCL において協定書の締結（署名）を行う予定である旨説明があった。

## 報告事項 5. 山口大学・UCL との 150 周年記念国際シンポジウムについて（資料 7）

馬場副学長から、UCL、山口大学及び本学が中心とり、明治維新から 150 年となる本年 6 月 22 日に在英日本国大使館において、維新 150 周年記念国際シンポジウムを開催し、本学から、前田

学長、清原理事（教育担当）、馬場副学長（国際企画推進担当）、中尾茂理工学研究科教授、玉置尚徳農学部教授及び事務4名の計9名が参加する旨資料に基づき説明があった。

報告事項6．本学教育研究評議会での審議事項等について（資料8）

学長から、本学での動向等を把握して頂くために教育研究評議会での審議事項等を添付している旨説明があった。

報告事項7．記者発表事項等について（資料9）

学長から、本学の最近の主な記者発表事項等の記事を添付している旨の説明があった。

その他

次回の経営協議会は、平成30年6月21日（木）13時30分からとなった。